



高体連期間中、学校では読書の時間があり、感想を書いてもらいました。どんな本が読まれているか、人気の作家さんや、書いてもらった感想などを紹介したいと思います。

## 多数の人が読んでいた作家はこの人!!

↓↓他にもこんな人の作品を複数の人が読んでました。↓↓

住野よる	山田悠介	池井戸潤
湊かなえ	中村文則	深海誠
白鳥土郎	朝霧カフカ	西尾維新
朝井リョウ	七月隆文	下川香苗
柳広司	有川浩	雫井脩介

## 感想いろいろ!!

『Nのために』 湊かなえ著  
構成が一人一人が語りかけるような感じでおもしろかった。事件の真相が楽しみ。(2年)

『検察側の罪人』 雫井脩介著  
沖野が最上を疑いはじめていく心情の変化がみえておもしろかったです。続きが気になるし映画もみてみたいです。(2年)

『ダブル・ジョーカー』 柳広司  
短編だから読みやすい。話の展開がまったく読めず、最後に明かされる真実に驚かされてしまう。(2年)



### 『下鴨アンティーク アリスの宝箱』 白川紺子著

「鶯の落とし文」という話は感動した。2つめの話は、正直鳥肌が立った。後悔を残すようなことはあまりしないようにしたいと思った。この本は、京都に魅力を感じられる。表現の一つ一つがきれいだった。(2年)

### 『2.43清陰高校男子バレー部』

壁井ユカコ著  
越智のネガティブな発言を打ち消すように統が言った「おまえの3年間、おれに預けろ」という言葉が心に残った。そういう言葉をさらっと言える統はカッコいい。(2年)

### 『はたらく魔王さま!』

和ヶ原聡司著  
ファンタジーなのに自分の人生のためになるような言葉もちよくちよく出てきて面白い本でした。笑いもあり戦闘もあり1番好きな本です!(2年)

### 『星やどりの声』 朝井リョウ著

父親を亡くした家族のそれぞれが生活の中での悩みや事件が起こる度父親の言葉や優しさを思い出すところでとても優しい気持ちになりました。(2年)

### 『Another』 綾辻行人著

何も知らなかった主人公が、いきなりクラスの禁止事項を破ったところから始まるストーリーだった。最初は謎が深まる一方だったが、あとあとからその理由がわかって面白いと思った。(2年)

### 『水族館ガール』 木宮条太郎

水族館のイルカトレーナーになるため夢を追いかける主人公に心を打たれました。自分も自信を持って何かを追いかけたいと強く思えた。(2年)

50分では読み切れなかったようで、たくさんの人が「続きが読みたい。」「帰ったら続きを読みます。」と書いてくれていました。「朝読書で途中まで読んでいた本を持ってきました。今日読めてよかった」「この本はシリーズなので、ちがう本も読んでみたい」中には「何回も読んでいる本をもう一度読んだ。」という意見もありました。

『空飛ぶタイヤ』 池井戸潤著

この題名を見たとき飛行機のタイヤかなと思ったが、実際は脱輪の事故だった。その責任を押しつけようとする大企業と中小企業それぞれの心の動き、また家族への影響など細かに書かれていて面白かった。

(2年)

『りゅうおうのおしごと』 白鳥士郎著

キャラクターがかわいいのがありますが将棋をしている所はとても熱く、本の世界に入り込むことができ、一緒に応援するような気持ちで本を読むことができました。全部読めてないので読み終えたいです。(1年)

『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』 坪田信貴著

「途中で目標を下げると、人間どんどん低いほうへ低いほうへ流れていくものなのです。」という文章が印象に残った。(1年)

『手紙』 東野圭吾著

弟の進学資金のために強盗殺人をしてしまった兄とそのせいであらゆる将来を奪われてしまった弟の悲しい状況がとても巧みな言葉で表現されていてすぐに話の中に入り込んでしまった。この小説はドラマ化もされるのでそれを期に多くの人に知ってほしい。(1年)

『羅生門・鼻』 芥川龍之介著

羅生門:教科書の内容とほとんど同じだったが、少し詳しく書かれたり表現がちがうところもあってよかった。鼻:“人間の心には互いに矛盾した二つの感情がある。誰かが不幸を切り抜けると、今度はこっちで何となく物足りないような心もちがする”という文章が印象に残った(1年)

『響け！ユーフォニアム』

北宇治高校吹奏楽部

『波乱の第二楽章』 武田綾乃

映画化した『リズと青い鳥』の原作小説でとても読みごたえのある本でした。一度読みはじめると時間を忘れるほど面白かったです。(1年)

『最後の医者は雨上がりの空に君を願う』 二宮敦人著

この本は前のシリーズがものすごく好きで読み始めました。何気なく読み始めましたが、読み終わった後ずっと心に残ります。生と死について考える場面が多くて、ずっと集中して読んでいました！何回読んでも面白いです。(1年)

『マイ国家』 星新一著

短いストーリーで構成されているので読みやすい。物語の一つ一つの完結が早いので飽きずに最後まで読むことができた。色々な話を一気に読むことができるので、ジャンルや物語の書き方などが異なっていて、読んでいて楽しい。(1年)

『悪いものが、来ませんように』

芹沢央 著

衝撃のラスト25ページ。絶対だまされて読み返します。(1年)

『世界から猫が消えたなら』 星新一著

設定がよかった。1冊がとても短くて、読みやすかったし、少し笑えるところや、考えさせられるところもあっておもしろかった。(1年)

『東京近江寮食堂』

渡辺淳子著

この物語は料理が中心となって話が進んでいくのですが、滋賀県を題材としているので、「鯖そうめん」や「赤こんにやく」などが出てきたり、「彦根」や「長浜」「米原」といった地名も出てきたので親しみやすく、面白かったです。(1年)

『ガンジス河でバタフライ』

たかのをてるこ著

香港・シンガポール・マレーシアなどを旅する著者の姿や街の風景などが想像でき、自分も旅に出たくなりました。また、ある登場人物が「私は日本と中国の架け橋となるような仕事をしたい」と述べていて自分もそういう仕事を一回してみたいなと感じました。(1'年)

『僕のヒーローアカデミア』堀越耕平著

「向いてるとか向いてねえとかさっき言ってたが、現場でそんな言い訳は通用しねえからな。やること当たり前に来てこそプロヒーローなんだよ」というセリフが印象に残ってます。僕も本番でやるのが当たり前に見えるようにするために自分に向いていなくても頑張ろうと思いました。(1年)

『1リットルの涙』 木藤亜也著

高校生の少女が、だんだん身体の自由を奪われてしまう難病と闘う。その少女の書いた日記です。歩いたり、食事したりすることがどれだけ幸せなことなのか気づいた。どんなことも前向きなので勇気をくれる本。(1年)

『坊っちゃん』 夏目漱石著

昔の言葉や難しい漢字が多く使われていて少し理解するのが難しかった。ものすごく熱い主役や個性的な人物が出てきて面白いと思う場面もあった。(1年)

すべてを紹介することはできませんでしたが、みなさんの感想は大変興味深く拝読しました。米高にない本も載せました。図書館の本選びの参考にもさせてもらおうと思います。ありがとうございました。

\* 予約・リクエスト、随時受け付けてます。この便りを見て、読んでみようと思う本があったら図書館へGO！